

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

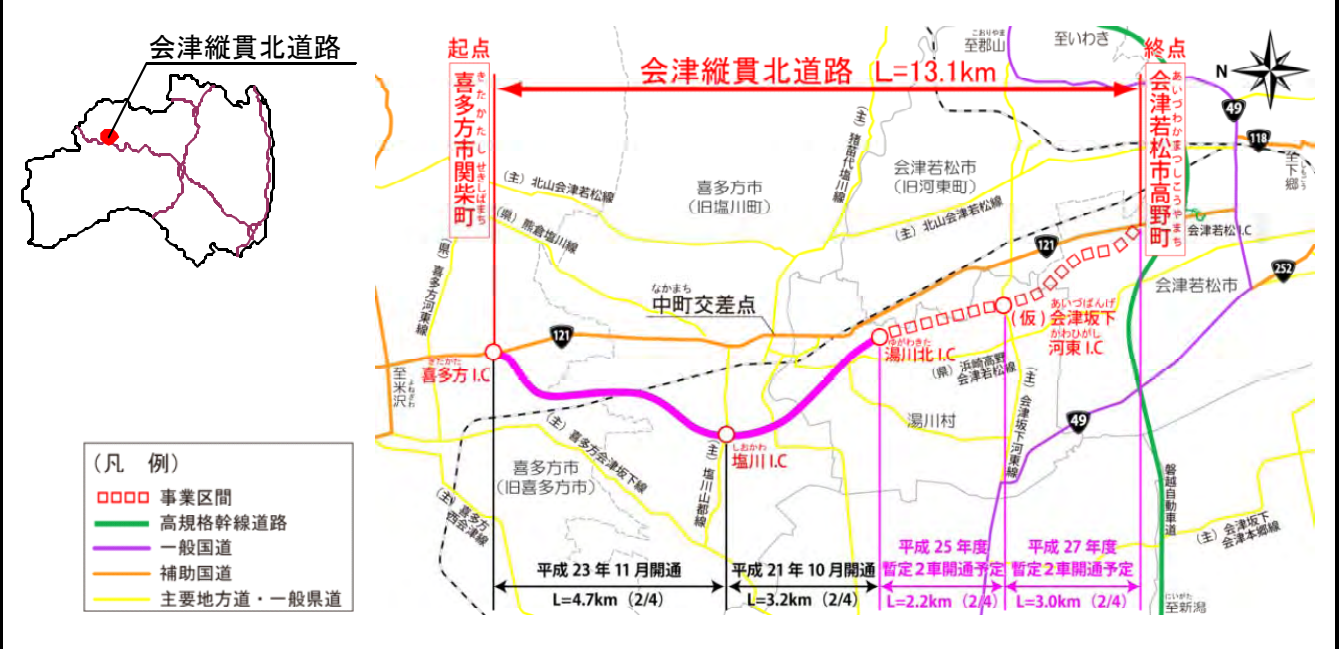
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道121号 <small>あいつじゅうかんきた</small> 会津縦貫北道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局				
起終点 自： <small>ふくしまけんきたかたしせきしばまち</small> 福島県喜多方市関柴町 至： <small>ふくしまけんあいつわかまつしこうやちよう</small> 福島県会津若松市高野町	延長 13.1km					
事業概要 会津縦貫北道路は、 <small>きたかたし</small> 喜多方市を起点として <small>あいつわかまつし</small> 会津若松市に至る延長13.1kmの地域高規格道路である。 会津縦貫北道路（自動車専用道路）は、喜多方地方と会津若松地方の連携を強化し、会津地方生活圏内の地域連携の促進に大きく寄与するものである。また、当道路の整備により、国道121号の通過交通が分担され、市街地内交通混雑を緩和し、通勤・通学など生活利便性の向上や観光流動の増加などが期待される。 さらに、 <small>よねざわし</small> 米沢市～ <small>やまがたけんおきたま</small> 会津若松市の所要時間が短縮し、山形県置賜地方と会津地方の交流が活発化することが予想される。						
H9年度事業化 H8年度都市計画決定 H11年度用地着手 H14年度工事着手						
全体事業費 410億円 事業進捗率 68% 供用済延長 7.9km						
計画交通量 20,800台/日						
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 5.8 </td> <td style="text-align: center;"> 総費用 (残事業)/(事業全体) 118億円/424億円 (事業費) : 108億円/414億円 (維持管理費) : 9億円/9億円 </td> <td style="text-align: center;"> 総便益 (残事業)/(事業全体) 689億円/887億円 (走行時間短縮便益) : 579億円/730億円 (走行経費減少便益) : 60億円/83億円 (交通事故減少便益) : 50億円/74億円 </td> <td style="text-align: center;"> 基準年 平成23年 </td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 5.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 118億円/424億円 (事業費) : 108億円/414億円 (維持管理費) : 9億円/9億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 689億円/887億円 (走行時間短縮便益) : 579億円/730億円 (走行経費減少便益) : 60億円/83億円 (交通事故減少便益) : 50億円/74億円	基準年 平成23年	
B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 5.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 118億円/424億円 (事業費) : 108億円/414億円 (維持管理費) : 9億円/9億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 689億円/887億円 (走行時間短縮便益) : 579億円/730億円 (走行経費減少便益) : 60億円/83億円 (交通事故減少便益) : 50億円/74億円	基準年 平成23年			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 【全体事業】 交通量変動 : B/C=2.5~1.7(交通量 ±10%) 【残事業】 B/C=6.5~5.3(交通量 ±10%) 事業費変動 : B/C=2.0~2.1(事業費 ±10%) B/C=5.3~6.4(事業費 ±10%) 事業期間変動 : B/C=1.9~2.3(事業期間 ±20%) B/C=5.4~6.3(事業期間 ±20%)						
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築 (地域高規格道路の位置づけあり) ・安全で安心できるくらしの確保 (三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる) 他9項目目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 ○福島県知事の意見 対応方針（原案）については、異議ありません。 なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期の事業効果の発現を図るとともに、更なるコスト縮減など、総事業費の抑制に努めて下さい。 ○以下の団体等から、「会津縦貫北道路」の整備促進について要望あり ・会津縦貫北道路整備促進期成同盟会（会長 喜多方市長） ・国道121号改良促進期成同盟会（会長 会津若松市長） ・会津総合開発協議会（会長 会津若松市長） ・米沢・会津・小山地域高規格道路建設促進期成会（会長 会津若松商工会議所会頭） 他						
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・県立会津総合病院と県立喜多方病院が統合され、H25に会津医療センター（仮）として、会津若松市河東町谷沢地区に開設予定。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率68%（うち用地進捗率60%）						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。						
施設の構造や工法の変更等 ・建設発生土の有効利用（他工事間調整・流用）によるコスト縮減を図る。						
対応方針 事業継続						

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。